

## ㉓ 小 学 校 生 活

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- 1 生活科における究極的な目標は、自立への基礎を養うことであるが、生活科でいう自立とは何か、次の①～③にあてはまる語句を書きなさい。

生活科でいう3つの自立

( ① ) 上の自立

( ② ) 上の自立

( ③ ) 的な自立

- 2 第1学年において、幼稚園や保育所などの幼児との交流を取り入れた活動を計画することとした。次の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 幼児と児童の交流によって、幼児と児童それぞれに期待できる効果を書きなさい。
- (2) 幼稚園や保育所などの幼児教育に携わる人々と小学校の教員との交流で期待できる効果を書きなさい。
- (3) 幼児と児童の交流を取り入れた単元を構成する場合、どのような活動が考えられるか、具体的に2つ書きなさい。

- 3 生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにすることをねらいとして、飼育・栽培活動を行うこととした。活動の留意点としてより適切な内容をア～カから3つ選び、その記号を書きなさい。

ア 児童が安心して繰り返し動物とかかわることができるように、児童ではなく保護者や全教職員が飼育施設の清掃を行う。

イ 植物の栽培に当たっては、農家の方など専門的な知識を持つ支援者に中心となって管理してもらい、植物の成長の様子や特徴がとらえやすい時期を逃さず授業を行うようにする。

ウ 飼育や栽培の過程では、新しい生命の誕生や突然の死や病気などの出来事に直面することがあるが、これらを児童の成長に必要な体験としてとらえる。

エ 動物の飼育に当たっては、管理や繁殖、施設や環境などについて配慮する必要があるので、地域の専門家や獣医師などとの連携を図る。

オ 飼育・栽培活動は、継続的に取り扱うことが重要であるため、地域や児童の実態に応じて、飼育または栽培のどちらか一方を選択して2学年にわたって取り組む。

カ 飼育や栽培の活動の前後には、必ず手洗いをする習慣をつけ、感染症などの病気の予防に努めるとともに、児童のアレルギーについて十分な対応を考える。

- 4 新小学校学習指導要領「生活」の「指導計画の作成と内容の取扱い」について、次の①～⑦にあてはまる語句を下のア～セから選び、その記号を書きなさい。

- ・ ( ① ), 社会及び自然を生かすとともに、それらを ( ② ) に扱うよう学習活動を工夫すること。
- ・ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えさせるため、( ③ ), ( ④ ), ( ⑤ ) などの多様な学習活動を工夫すること。
- ・ 具体的な活動や体験を行うに当たっては、身近な幼児や ( ⑥ ), 障害のある ( ⑦ ) などの多様な人々と触れ合うことができるようにすること。

ア 比べる

イ たとえる

ウ 地域の人々

エ 触れ合う

オ 両親

カ 公共施設

キ 高齢者

ク 一体的

ケ 学校

コ 伝え合う

サ 児童生徒

シ 合科的

ス 見付ける

セ 振り返る